

エレクトロスライダー 取扱説明書

1. はじめに

エレクトロスライダーは双方向性、半導体を使用した新方式を製品化したもので、小型軽量でリモートコントロールができ取扱いも簡単に行なえる交流制御器です。

半導体（トライアック）には多くの特長がある反面、使用方法を誤りますと瞬時に破損することがあります。

ご使用に際しては、取扱説明書を参照のうえ正しくお使いください。（この装置は、研究用理化学向けです。

一般家庭でのご使用は、行なわないでください。）

2. 使用方法及び接続方法

SL-105 型の使用方法

⚠※注意：機器を接続する前は、必ずツマミを「0」の位置に戻してください。

0にしない場合、突入電流により許容量オーバーとなり思わぬ事故が発生する可能性があります。

1. 調整器のツマミを左にまわし、零点に戻します。
2. 本体のコンセント部に、差し込みプラグにて負荷をつなぎます。
3. 本体を電源コンセントに差し込みます。

調整器のツマミを右に回すと電圧は上昇します。（ただし、ツマミの目盛位置と電圧は一致しません。）

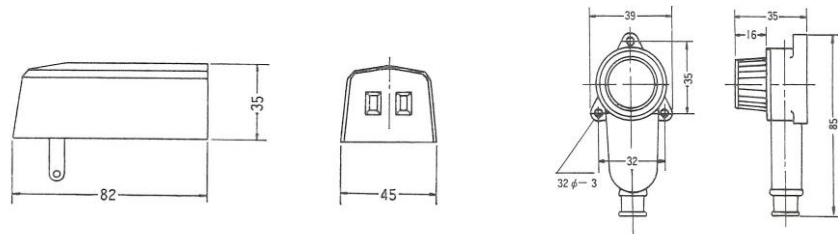


図-1 SL-105

SL-110R 型～SL-215S 型の使用方法及び接続方法

⚠※注意：機器を接続する前は、必ずツマミを「0」の位置に戻してください。

0にしない場合、突入電流により許容量オーバーとなり思わぬ事故が発生する可能性があります。

1. 調整器のツマミを左にまわし、零点に戻します。
2. ターミナルのIN（入力）とCOM（共通ターミナル）の端子に電源を接続してください。
3. 負荷のコードをOUT（出力）とCOM（共通ターミナル）の端子に接続してください。
4. 電源を投入し、ご使用ください。

※電圧調整ツマミは、SL-110R～SL-215R 型は上記 SL-105 型と同様で、SL-110S～SL-215S 型はケースに取り付けられています。

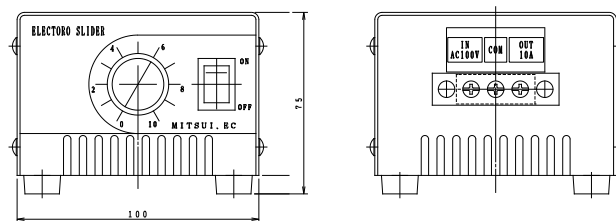


図-2 SL-110S～SL-215S 型

3. 最少過負荷電流について

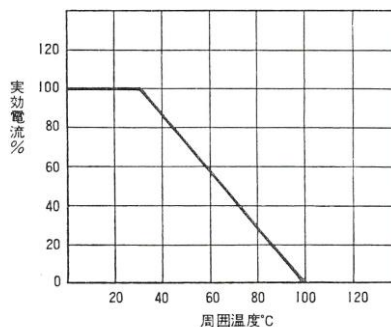
トライアックは最少負荷電流を流さないと、交流電圧計にて電圧を読み取れませんので、その場合 AC50mA～100mA 以上負荷電流が流れる負荷抵抗を接続してください。

4. 周囲温度と許容電力電流との関係

定格出力電流は周囲温度 30℃にて 100%出力となります。

周囲温度が定格を超える場合は、次表にしたがって負荷電流を低減させる必要があります。

たとえば、周囲温度が 40℃になりますと出力電流は約 90%となり、60℃になると 60%となりますので長時間使用する場合過負荷にならぬ様に注意してください。



5. サージ電流負荷の場合

白熱電球、変圧器、電動機等の電源投入時にサージ電流を発生する負荷の場合は、サージ電流波高値およびその通電時間を考慮して、十分な電流容量を有する器種を選定してください。

また、半導体用ブレカーか速断性ヒューズ等をご使用ください。

6. 型名と定格

型名定格表

型式	図番	入力電圧範囲	最大電流	サイクルサージ電流
SL-105	1	70～140V	5A	40A
SL-110S・R	2	70～140V	10A	90A
SL-115S・R	2	70～140V	15A	120A
SL-210S・R	2	70～280V	10A	90A
SL-215S・R	2	70～280V	15A	120A